

日本経済新聞（2020年5月30日・朝刊31面）



人口減少、低成長、そして貧困化……  
この国のシステムが、  
“静かな有事”を進行させる。

我々の未来に不安をもたらす様々な問題は、なぜ解決できないのか、その真因を明示し、包括的な改革プラン、成長戦略を具体的に示す。  
財経省顧問 小黒一正

「マをほぼ網羅したのが特徴といえる。分野ごとの課題を扱う類書は多いが、経済を横断的に見渡すのに適している。」

著者は財務省出身の経済学者。それぞれの論点にまつわる政府のデータが数多く盛り込まれており、テーマごとに足元の状況を理解するための資料としての価値は高い。

■『日本経済の再構築』 小黒 一正著  
令和という新しい時代の始まりをきっかけに、ほころびが目立つ日本の経済システムの課題を論じた。財政や年金、医療、金融政策、国・地方の関係、成長戦略、格差是正など経済の主要テーマ

財政再建の重要性を説くなど、示された再構築の方向は王道であり、数多くの有識者が繰り返し説いてきた内容と重なる。メッセージとしての目新しさはとくに無い。（日本経済新聞出版・2200円）